

オリンピック・パラリンピックと薬剤師

2020東京オリンピック・パラリンピックを迎えて、 そしてその後を見据えて

Novel Roles of Pharmacists in Sports and Health-Toward Tokyo 2020 and Beyond



日時

2019.11.30 (土)

13:00-18:00 (講演 14:30-18:00)

場所

日本大学法学部本館

東京都千代田区神田三崎町2-3-1

事前申し込み不要※
参加費無料



●JR総武線・中央線「水道橋」駅下車 徒歩4~5分

シンポジウム

14:30-18:00

基調講演

Pharmacy at the Olympic Games (通訳付き)

Mark Stuart 氏 (国際オリンピック委員会 (IOC) Medical and Scientific Commission)

講演1

競技団体から考えるスポーツサプリメント事情 -新ガイドライン対応について-

藤森 徹 氏 (公益財団法人日本ハンドボール協会 日本ハンドボールリーグ機構副会長)

講演2

アスリートから薬剤師になって

松島 美菜 氏 (薬剤師 2012ロンドンオリンピック競泳日本代表)

講演3

アスリートを支える薬剤師の活動

笠師 久美子 氏 (北海道医療大学薬学部 特任教授)

※本シンポジウムは研修認定薬剤師制度 (研修受講シール) 対象講座 (2単位) です。研修単位として受講される方はWebサイトから事前申請が必要です。(11/24締切) <https://www.pha.nihon-u.ac.jp/longlife-learning/antidoping/>



ポスター
発表

13:00-18:00
(説明 13:00-14:00)

文部科学省私立大学研究ブランディング事業

「スポーツ日大によるアンチ・ドーピング教育研究拠点確立と
ポストオリンピックへの展開」成果報告



感動を守る。

AntiDoping

NIHON UNIVERSITY

イベント

13:00-14:00

体のゆがみ測定

〈主催〉



日本大学
NIHON UNIVERSITY

〈後援〉

公益社団法人日本薬剤師会
公益社団法人日本薬学会

〈問い合わせ先〉

日本大学薬学部 研究事務課

千葉県船橋市習志野台7-7-1 Tel.047-465-2383